



<b>6. 漏洩時の措置</b>	
人体に対する注意事項等 環境に対する注意事項	十分に換気を行う。関係者以外の立ち入りを禁じる。 河川などに大量に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。
回収・中和	少量の場合は掃除機、ほうきなどで集める。回収物は一般ごみとして廃棄する。
二次災害の防止策	火花を発生しない安全な用具を使用する。
<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>	
取扱い	
技術的対策	適切な保護具を着用する。換気の良い場所で取扱う。一定の濃度範囲で粉塵爆発の可能性。
安全な取扱い注意事項	粉塵をたてないように取扱う。必要に応じて、局所排気、換気を行う。
保管	
適切な保管条件	直射日光、高温多湿を避け、室温で保管する。開封後も密閉保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど。
<b>8. 暴露防止及び保護措置</b>	
管理濃度	情報なし
設備対策	粉塵を立てないように取扱い、必要に応じて局所排気等を講じる。必要に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を用いる。
保護具	
手の保護具	適切な手袋を着用する。
目の保護具	適切な目の保護具（保護眼鏡等）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	身体を覆う被服、長靴を着用する。
衛生対策	作業後手を洗う。
<b>9. 物理的及び化学的性質</b>	
物理的状态 (20℃)	粉末
色	乳白色
臭い	特異な香り
pH	4.5～6.5 (10%溶液)
沸点	情報なし
嵩比重 (タップ密度)	0.45～0.75 g/cm <sup>3</sup>
<b>10. 安定性及び反応性</b>	
安定性	適切な保管条件下において安定。
危険有害反応可能性	粉塵爆発可能性あり。
避けるべき条件	高温多湿、直射日光
混融危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼した場合、二酸化炭素が発生する。不完全燃焼の場合、一酸化炭素が発生する可能性がある。
<b>11. 有害性情報</b>	
急性毒性	
シソエキス	経口 ラット LD <sub>50</sub> > 2 g/kg (100%固形分換算)
マルトデキストリン	データなし

亜急性毒性	
シソエキス	経口 マウス NOAEL = 2 g/kg/day (100%固形分換算)
マルトデキストリン	データなし
皮膚腐食性/刺激性	
シソエキス	ヒト 刺激性認められず ウサギ 刺激性認められず
マルトデキストリン	データなし
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	
シソエキス	ウサギ 刺激性認められず
マルトデキストリン	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
シソエキス	データなし
マルトデキストリン	データなし
生殖細胞変異原性	
シソエキス	データなし
マルトデキストリン	データなし
発がん性	
シソエキス	データなし
マルトデキストリン	データなし
生殖毒性	
シソエキス	データなし
マルトデキストリン	データなし
特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	
シソエキス	データなし
マルトデキストリン	データなし
特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	
シソエキス	データなし
マルトデキストリン	データなし
吸引性呼吸器有害性	
シソエキス	データなし
マルトデキストリン	データなし

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境急性有害性	情報なし
水生環境慢性有害性	情報なし
その他	水質汚濁防止法の排出基準に従う。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

### 汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。  
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を除去すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 国連分類

### 国連番号

### 注意事項

該当なし  
該当なし  
運搬に際しては容器に漏れの無いことを確認し、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

#### 15. 適用法令

労働安全衛生法	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
消防法	該当なし
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	該当なし
船舶安全法	該当なし
航空法	該当なし
その他	食品衛生法、JAS 法

---

#### 16. その他の情報

引用	SDS (マルトデキストリン)
----	-----------------

---

本 SDS は基本的な取扱いについて記述したものであり、安全保証を意図して作られたものではありません。また、危険・有害性の評価は入手できる資料等をもとに作成しておりますが、全ての資料を網羅していることを保証するものではありません。本 SDS は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。